

学校経営における基本的な考え方について

北海道根室高等学校
令和8年4月6日

【経営方針】

「生徒まんなか」から、主体的挑戦が生まれる学校
～「安心」して失敗できる環境が、自ら未来を拓く力を育む～

【基本的な考え方】

- | |
|---|
| I 生徒が「 <u>心理的安全性（ウェルビーイング）</u> 」を基盤に、失敗を恐れず「 <u>主体的に挑戦（エージェンシー）</u> 」し、自らの手で夢や希望を切り拓く学校 |
| II 教職員が日々実践を積み重ね、 <u>協働</u> して課題に取り組み、目指す教育目標を実現する学校 |
| III 生徒の生き生きとした活動と成長が保護者や地域の「 <u>信頼と誇り</u> 」になり、「ふるさと根室」の未来を地域と共に創り上げる学校 |

【目指す姿】

生徒、保護者、地域にとって、行きたい・行かせたい地域No1の学校

- | |
|--|
| ○ 入学後：安心できる居場所の中で主体的に挑戦でき、帰属意識と自己肯定感が高まる |
| ○ 卒業後：自らの成長を実感して感謝の心を持ち、母校への誇りが芽生える |

そのために

- ・ 生徒一人ひとりに寄り添う継続的な支援
- ・ 組織的な議論に基づく持続可能なシステムの構築

【学校経営の重点】

○ 探究活動の充実と「エージェンシー」の育成

- ・ 主体的・対話的で深い学びを実現する授業改革
(ねらいに応じたICTの活用、「教え込み」から「自ら学ぶ」姿勢への転換、成果と評価の可視化)
- ・ 個々の希望を実現する伴走型進路指導の充実
- ・ 商業科教育の深化と地域人材の育成 (外部人材と連携した実践的な職業教育の展開と、資格取得率の向上)

○ 自己指導能力の育成と「ウェルビーイング」の向上

- ・ 多様性の尊重と心理的安全性の醸成
(他者を認めるコミュニケーショントレーニング(アサーション等)の実施)
- ・ 心身の健康と命を守る態度の育成
(ウェルビーイングを高める系統的な指導および教科横断的な指導の展開)
- ・ 社会人基礎力(自律性)の育成
(TPOをわきまえ、自ら考え判断し、責任を持って行動できる態度の育成)

○ 危機管理意識の高揚と組織対応の徹底

- ・ 情報の迅速な共有とチーム対応の原則
「悪い情報ほど早く」を徹底した報告・連絡・相談(ホウレンソウ)の励行
- ・ 未然防止に向けたリスク予知・予測の習慣化
サービス規律の遵守、情報管理、備品・金銭管理の徹底による信頼失墜の防止

○ 地域・保護者との「共創」による信頼関係の深化

- ・ コミュニティ・スクール(CS)の機能強化と地域連携の深化
MA+CHプロジェクト等の推進による、地域と一体となった教育活動の展開
- ・ 戦略的な情報発信による魅力発信
Note、HP等を活用した、生徒の挑戦と成長が見える広報活動の充実
- ・ 根高みらいプロジェクトの設置と学校魅力化の推進

○ 活力あふれる「チーム学校」の環境づくり

- ・ 円滑なコミュニケーションによる組織力の向上
学年・分掌・教科の垣根を超えた連携と、互いに応援し合える職場文化の醸成(他から応援されるクラス・学年づくり)
- ・ 専門性を高める研修の充実と心身の健康保持
コーチングや特別支援教育など、生徒の主体性を引き出す指導力の向上
業務の精選及び平準化による「心のゆとり」の創出(超勤45時間以内、年休10日以上)の取得)